

東三河の農業を  
劇的に転換させた

## 豊川用水を未来へつなぐ

演劇

ほとばしる

未来へつなぐ

鳳来の山から渥美半島先端まで網の目のように走り、  
進る豊川用水。通水50周年を記念し、  
豊川用水に関わる様々な人間模様を東三河の演劇人が演じます。  
知られていない豊川用水の歴史を体感して下さい。

豊橋公演

2018年

9/22 土 14時~19時 23 日 14時~19時 (各30分前開場)

主催 「ほとばしる!」を上演する会  
会長 白井良始 (JA豊橋代表理事組合長) 副会長 高瀬与志彦 権田晃範  
問合せ 0532-47-0509 「ほとばしる!」を上演する会事務局 (これから出版内)

会場 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 主ホール

チケット 指定席 3,000円 (当日 3,500円)  
自由席 2,500円 (当日 3,000円) ※高校生以下 1,500円

未就学児のための母子室があります。席に限りがあるため、主催者までお問い合わせください。  
取り扱い プラットチケットセンター 0532-39-3090 (10:00~19:00 休館日を除く) <https://toyohashi-at.jp/>  
ほの国百貨店 6F プレイガイド 0532-53-5064  
株式会社東雲座カンパニー・これから出版 0532-47-0509

豊川公演

9/29 土 14時~ 30 日 14時~ (各30分前開場)

主催 豊川市  
問合せ 0533-84-8411 豊川市市民部文化振興課 (豊川市文化会館内)

会場 ハートフルホール (御津文化会館)

チケット 全自由席 2,500円 (当日 3,000円) U-24 1,000円 (前売り・当日同額)

※未就学児の入場はご遠慮ください。  
※U24:公演当日、年齢確認のできるものを必ずご提示ください。(学生証、免許証など)。  
取り扱い 豊川市文化会館 0533-84-8411 豊川市内文化施設 (ハートフルホール / 豊川市文化会館 / ウィンディアホール / フロイデンホール / 桜ヶ丘ミュージアム) プリオインフォメーションカウンターほか



# 通水50周年、演劇で分かりやすく 豊川用水、水道、農業の歴史を伝えます。

「進む！」あらずい

舞台は豊橋市二川のとある老人施設。

ここでは豊橋・田原・鳳来・渥美出身の老人たちが介護士と楽しく生活している。

ある日、行方不明になった老人を探し

に出た介護士は、二川サイフォンの慰霊碑の前にいる彼を見つけ、意外な事実を知る。

老人たちによって語られる、幼年期に

水不足で苦労した日々の暮らし、『大ぼら

吹き』と揶揄されながらも夢を追う政治

家の話……。

完全オリジナル脚本を、実力俳優が地元愛で熱演！  
笑いあり、涙あり、歌とダンスありの楽しい演劇になりました。

出演

あんためいぎ

安藤友成

伊藤勝利

内山美恵

草柳 顕

酒井裕之

佐藤ユリカ

杉浦匡昭

桐なつね

鳥居久美子

藤こみき

原作

住田真理子

脚本

城田多見子

演出

城田文孝

演出補

金沢琢久磨

音楽

TAMTAM (TAKA)

振付

鳥居久美子 (K★STAR)

舞台監督

住吉達也

照明

提髪 新

音響

外山大輔

映像

田中一成

大道具

(株)東雲座カンパニー

衣裳

陽炎座

制作

古池もも (これから出版)

(株)東雲座カンパニー



写真：水資源機構提供

もし、  
豊川用水が  
無かったら…!?

今、世界では干ばつに苦しむ国がたくさんあります。今回の演劇でも、アフガニスタンの話が出てきます。自分には関係ない？ いえいえ、東三河もたった50年前はアフガニスタンと同じ状態だったのです。

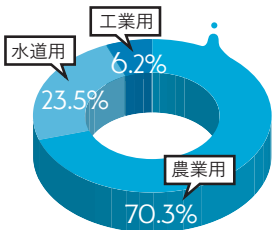
## 東三河は水も、食べ物もなく苦しい土地…

東三河地方は、古来より幾度となく干害に見舞われてきた地域です。特に渥美半島は大きな川がないために、日照りが続くと作物を育てるのに大変苦労していました。そこで、苦しむ人々のために何とかこの地域に豊川の水を引こうと考えたのが、田原市出身の政治家、近藤寿市郎\*です。(※後に県議員、衆議院議員、豊橋市長を歴任)

## 苦しむ農民たちのために 私財を投げうち、立ち上がった人たちがいた

近藤は水不足や人口増加による食糧不足の解決方法を模索していました。大正10年に視察でオランダ領インドネシアを訪ね、高い技術の水利事業を目の当たりにしたことで、豊川用水の原型を思い浮かべます。彼は早速、県議会にアイデアを提出しますが、馬鹿にされ全く取り合ってもらえません。その後も諦めず、衆議院議員に転身しても主張し続け、昭和7年、ついに豊川用水の建設が国営事業として実施されることが決定しました。しかし、日中戦争・太平洋戦争の勃発によりこの計画はいつの間にか消えてしまいました。

戦後、慢性的な食糧難解決のため国会議員の八木一郎、豊橋市長の河合陸郎が立ち上がり再び計画が動き出しました。昭和43年6月に「豊川用水」としてやっと完成したこの用水は、今では渥美半島全域の農業・水道・工業用として年間約2億6,200万㎡も利用され、東三河農業発展の要となっています。豊川の水は用水を通じて渥美半島や豊橋市南部地域を潤し、貧しい農村を日本屈指の農業王国へ変化させたのです。



農業や工業だけでなく、毎日使う水道も、豊川用水があってこそ。知ってましたか？

## 豊川用水完成までの汗と涙 地元だからこそ、知っておきたい物語があります

かつて水不足のため雨ごいに明け暮れた生活や、先人たちの労苦があったことを今では知らない人の方が多くなってしまいました。今回の演劇は、この50年間を知っているお年寄りたちが昔を思い出すストーリー。通水前から今日までの水、農業、農民たちの歴史が描かれます。多くの市民の方々に観劇いただき、若い世代へ伝えていただきたいです。

豊橋	豊橋・豊川にて4日間5回上演	豊橋	豊川
9/22(土) 14時~19時~		9/29(土) 14時~	
9/23(日) 14時~		9/30(日) 14時~	

豊川用水のおかげで、  
東三河の農業・工業の発展と  
人々の生活が向上しました！



豊橋公演の  
チケットに関するお問合せ

「ほとばしる！」を  
上演する会事務局

(これから出版/株)東雲座カンパニー内  
〒441-8052 豊橋市柱三番町79  
※平日9:00-18:00 土日祝休み

TEL 0532-47-0509  
MAIL korekara09@tees.jp

豊川公演お問合せ…豊橋市市民部文化振興課(豊橋市文化会館内) TEL 0533-84-8411  
※火曜休館/火曜日が祝日の場合は翌日休館 〒442-0841 豊橋市代田町1-20-4